２月２０日（水）、大野原幼稚園で初めての交流会が行われました。

これは幼稚園から「園児たちに『ピタゴラスイッチ』のようなもので遊びを行っているが、園児をはじめ先生方も作製に苦慮している、工業高校生の力を貸してもらえないか。また、そこで高校生との交流もできれば。」という要望が本校「三豊工ものづくりセンター」にあり、それを受けて実施されたものです。３年生の進学コース１０名が、課題研究の一部として１１月から作製に取り組み、当日は３・４・５歳児７８名と一緒に、持参した装置や園児の作製した装置、積み木ドミノを組み合わせて一つの装置を作り上げました。

初めてのこともあり、途中でボールが止まったり、積み木が倒れなかったりすることもありましたが、楽しく交流ができ園児達の歓声が遊戯室に響きました。その後、一緒にお弁当も食べ良い交流会となりました。来年度は、さらに装置の研究をして止まらず最後まで行けるように、そして、もっと大きな歓声が響きわたるようにしたいと考えています。